

高齢者の万引き増加に関する背景・要因について

1 高齢者を取り巻く社会経済状況（一般的要因）

（1）経済的要因

- 加齢等に伴う世帯収入の低下
 - ・退職や世帯構成の変化（夫・妻の死亡、子供の独立など）等に伴う収入ダウン
 - ・年金制度改革、社会保障制度改革等の影響

（2）社会的要因

- 社会からの孤立
 - ・加齢に伴う関係性の変化（退職に伴う環境・人間関係の変化や家族構成の変化など）
 - ・地域社会からの孤立（もともと付き合いが無い）

（3）心理・身体的要因

- 身体・感覚機能の低下
 - ・認知機能の低下
 - ・心理・精神の変化
 - ・外部環境に対する適応能力の低下 など

⇒ これらの状況下で、多くの高齢者たちが逸脱しないにもかかわらず、何故、一部の高齢者たちは逸脱してしまうのか。 → **実態調査を実施**

2 一般高齢者と高齢万引き被疑者との差（個人差）

（1）社会関係資本や社会的絆などの差（外形的・社会的要因）

- 教育・収入
- 人間関係
 - ・家族との関係性
 - ・支援してくれる人の存在
 - ・地域社会・他者とのつながり

（2）個人の意識や心理などの差（内面的・個人的要因）

- 規範意識の程度
- 外形的な孤立の有無にかかわらず、内面において本人が感じる孤独・不安の程度
- 社会への不満・不公平感
- 経済事情の悪化や関係性の変化等、緊張にさらされた際の自己統制力の有無

（3）コホートの特性